

まちの予算

令和元年度 主要事業

周防大島町では誰もが主役になれる町、幸せに暮らせる町づくりの実現に向けて、

- ①安心して子供を生み育てられる町
- ②働く意欲の湧き出る町
- ③自然と環境にやさしい町
- ④晩年を豊かで安心して過ごせる町
- ⑤次世代に素敵な未来を約束する町

という5つの柱を立て、予算編成を行いました。

今月号から「まちの予算」と題して、今年度実施する主要事業について紹介していきます。

① 安心して子供を生み育てられる町

周産期医療支援事業

76万4千円

周防大島町および周辺自治体には出産のできる民間病院または医院が少ないことから、町民が安心して妊娠・出産するための環境を整備します。

子育て支援任意予防接種事業

45万6千円

子どもの健康を守り保護者が安心して働ける環境を提供するため、ロタウイルス、おたふくかぜの予防接種費用の半額を助成します。

風しん予防接種事業（成人）

2万5千円

赤ちゃんを先天性風しん症候群から守るため妊娠を予定している女性、パートナーおよび同居家族に対して抗体検査およびワクチン接種費用の一部を助成します。

児童手当事業

1億191万4千円

中学校卒業までの子どもを対象に1人あたり、3歳未満は月額1万5千円、3歳以上は月額1万円（3歳以上小学校卒業までの第3子以降は、1万5千円）、所得制限以上の方は月額5千円を支給します。

ちびっ子医療費助成事業

147万3千円

小学校6年生までの児童の医療費を全額助成します。

中学生医療費助成事業

625万3千円

中学校3年生までの医療費を全額助成します。

地域子育て支援拠点事業

223万5千円

子育て支援センターを民間に委託するとともにセンターを3カ所設置し、参加しやすい環境を整え、子育て不安の解消や子どもの健やかな育成を支援します。

保育所同時入所2人目以降無料化事業

972万3千円

同一世帯の就学前児童が町内の全保育所（園）に2人以上同時に入所している場合、保育料の負担は1人目のみとなります。（2人目以降は無料）

◆健康増進課関係

☎0820（73）5504

産後ケア事業

34万1千円

産後も安心して子育てができる支援体制を確保するため、産婦および乳児に対して心身のケアおよび育児サポートを行います。

産婦健診事業

38万8千円

産後の初期段階における母子に対する支援を強化するため、産婦健診を行います。

子育て世代包括支援センター事業

17万円

妊娠期から子育て期にわたるまでの様々なニーズに対して、切れ目のない総合的相談支援を実施するとともに、関係機関とのネットワークづくりを推進していくためのワンストップ拠点としての機能を図ります。

特定不妊治療費助成事業

101万3千円

医療保険が適用されない不妊治療に要する費用の一部について、国の制度により県が行う助成を基準に町独自に助成額を拡充します。

◆福祉課関係

☎0820（77）5505

プレミアム付商品券事業

2億698万8千円

10月からの消費税引き上げによる負担を緩和するとともに地域における消費を喚起するため、低所得者や子育て世帯を対象にプレミアム付商品券を販売します。